

木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町広域廃棄物処理事業協議会（以下、「協議会」という。）は、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第8条第1項の規定に基づき、第2期君津地域広域廃棄物処理事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者を決定したので、同法第11条第1項の規定により、客観的な評価の結果を公表する。

令和2年9月30日

木更津市長 渡 辺 芳 邦

君津市長 石 井 宏 子

富津市長 高 橋 恭 市

袖ヶ浦市長 粕 谷 智 浩

鴨川市長 亀 田 郁 夫

南房総市長 石 井 裕

鋸南町長 白 石 治 和

## 第1. 事業概要

### 1. 事業名称

第2期君津地域広域廃棄物処理事業

### 2. 対象施設となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設

### 3. 公共施設の管理者の名称

木更津市長 渡辺 芳邦

君津市長 石井 宏子

富津市長 高橋 恭市

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩

鴨川市長 亀田 郁夫

南房総市長 石井 裕

鋸南町長 白石 治和

### 4. 事業方式

本事業は、PFI法に基づき、PFI事業者が7自治体と事業契約を締結し、自らの提案をもとに本施設等の設計・建設し、事業期間が終了するまで、施設を所有し、運営を行うB00（Build：建設 Own：所有 Operate：運営）方式により実施する。PFI事業者は、本施設の設計・建設及び運営に係る資金を調達し、本施設竣工後であっても、その所有権を7自治体へ引き渡さず、所有する。

なお、本施設の整備については、交付金の対象事業として実施することとする。

### 5. 事業スケジュール

本事業の事業スケジュールは、以下のとおりを予定している。

| 区分      | 期間             |
|---------|----------------|
| 事前準備期間  | 事業契約締結～令和5年3月  |
| 設計・建設期間 | 令和5年4月～令和9年3月  |
| 運営期間    | 令和9年4月～令和29年3月 |

## 6. 事業者の業務範囲

- (1) 事前業務
- (2) 事業用地の確保
- (3) 環境影響評価業務
- (4) 処理業務
  - ア 設計・建設業務
  - イ 運営業務の準備業務
  - ウ 本施設の運営業務
    - (ア) 搬出入管理業務
    - (イ) 運転管理業務
    - (ウ) 維持管理業務
    - (エ) エネルギーの有効利用業務
    - (オ) 副生成物及び溶融物・金属類の有効利用及び外部資源化業務
    - (カ) その他運営に関わる業務
- (5) 事業期間終了時の対応

## 第2. 選定方法等

### 1. 民間事業者の募集及び選定方法

民間事業者の募集及び選定は、公募型プロポーザル方式により実施した。

### 2. 選定委員会

事業者の選定にあたっては、有識者のみで構成される「第2期君津地域広域廃棄物処理施設整備運営事業者選定委員会」（以下「事業者選定委員会」という。）を設置した。事業者選定委員会は、（仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業優先交渉権者選定基準に基づき、事業者の提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、優先交渉権者を選定した。

### 3. 事業者選定までの経緯

| 日程               | 内容        |
|------------------|-----------|
| 令和元年7月17日        | 実施方針の公表   |
| 令和元年9月4日         | 特定事業の選定   |
| 令和元年9月9日         | 募集要項の公表   |
| 令和元年12月23日および24日 | 提案書類の受付   |
| 令和2年3月17日        | 優先交渉権者の選定 |

### 第3. 選定結果等

#### 1. 選定結果

協議会は、事業者選定委員会での選定結果を踏まえ、以下のグループを優先交渉権者として決定した。

| 応募者の構成 | 名称   |
|--------|--|
| グループ名  | 日鉄エンジニアリング株式会社グループ   |
| 代表企業   | 日鉄エンジニアリング株式会社   |
| 構成企業   | 鹿島建設株式会社<br>株式会社広築<br>日鉄環境プラントソリューションズ株式会社<br>株式会社市川環境エンジニアリング |
| 協力企業   | —  |

#### 2. 財政負担額の削減効果

優先交渉権者の提案価格に基づき、本事業をPFI事業（B00方式）で実施する場合の現在価値換算後の7自治体の財政負担額は、従来方式により7自治体を実施する場合と比べて、約2.3%削減される結果となった。

以 上